

# TODA 産業レポート —2024年7月戸田市景気動向調査—

## ●調査概要

- ・実施期間 2024年7月12日(金)～7月31日(水)
- ・調査対象 市内事業者700社
- ・調査方法 WEB調査 (対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)
- ・回答状況 有効回答数 188 回答率 26.9%

天気マークと指標	
	雨 ▲100～▲50
	曇/雨 ▲49～▲20
	曇 ▲19～19
	晴/曇 20～49
	晴 50～100

## ●調査結果のまとめ

### ◆戸市内企業の景況感について

全体	天気		景況感DI	概要
	前期		曇 ▲8.21	
	現状		曇 ▲18.72	
	先行き		曇/雨 ▲28.34	

・市内中小企業の景況感は、前期に比べ減退傾向が見られ(前回から10.51ポイント減少)、先行きについても厳しい状況(現状から9.62ポイント減少)である。  
 ・生産高・売上高において、現状、先行きともに減退傾向がみられることに加え、仕入価格の上昇が続いており、利益を創出しづらい状況が続いている。価格転嫁については、一部で若干の動きがみられるものの経常利益改善には結びついていない。

※前期：R5.10～3月、現状：R6.4～9月、先行き：R6.10～3月

※分析についてはDI(景気動向指数:Diffusion Index)を使用

### ◆全体について

・全体的に前期よりも減退傾向がみられ、見直しについても悪化傾向にあることから、今後も企業にとって厳しい状況が続く模様。  
 ・「生産高・売上高」については、前回から8.32ポイント減少しており、見直しについては、さらに1.07ポイント減少すると見込まれているなか、唯一、飲食業のみが、現状および先行きともに改善傾向にある。  
 ・「原材料・仕入価格」については、前回から0.35ポイント増加しており、見直しについては、さらに0.95ポイント増加すると見込まれている。依然として全業種で高い水準となっており、利益を創出しづらい状況がうかがえる。

#### 【企業業績に影響を与えた(る)外的要因予測】

- ポストコロナ時代における経済活動の活性化
- 猛暑の影響やインバウンド消費
- 2024年問題(働き方改革関連法)
- 原材料価格の上昇や海外からの輸入コストの増加による物価の高騰
- 2025年問題(超高齢社会)
- 外国為替レートの変動(円安の進行)や株価の乱高下
- 諸外国の紛争問題
- 新紙幣の発行

#### 【特別調査】

- ・現状直面している経営課題としては、前回調査時と同様に「収益性の向上」が最も多く、次に「人材の強化」が多かった。
- ・「2024年問題」に対する具体的な影響については、「物流コストの増加」と「人件費の増加」と回答した企業が多かった。また、「2024年問題」に対する具体的な対応策としては、「運送費の値上げ」、「労働環境の改善」、「スケジュールの見直し」が多く挙げられた。
- ・「2025年問題」全般に対する具体的な影響については、「人手不足の深刻化」が最も多く、次いで「営業収益の減少」が多かった。
- ・事業承継は、後継者が「いる/親族」と回答した企業が65社で、前回調査時より増加。事業の継続を希望する企業が6割以上を占めており、「事業承継全般」、「後継者の育成」等に悩みや課題がある一方、「誰にも相談していない」と回答した企業が多数を占め、引き続き注視する必要がある。

## ●業種別

業種	天気	景況感DI	概要
建設業	前期		曇 0.00
	現状		曇/雨 ▲26.92
	先行き		曇/雨 ▲23.08
製造業	前期		曇 ▲12.82
	現状		曇/雨 ▲38.89
	先行き		曇/雨 ▲36.11
卸売業/小売業	前期		曇/雨 ▲28.00
	現状		曇/雨 ▲28.57
	先行き		雨 ▲50.00
飲食業	前期		晴/曇 33.33
	現状		晴 75.00
	先行き		晴 75.00
不動産業	前期		曇 5.56
	現状		曇 ▲3.45
	先行き		曇 ▲17.24
サービス業	前期		曇 ▲12.20
	現状		曇 ▲10.34
	先行き		曇/雨 ▲34.48
運輸・通信業	前期		曇 0.00
	現状		曇 ▲12.50
	先行き		曇/雨 ▲37.50
その他	前期		曇 ▲8.00
	現状		曇 ▲14.81
	先行き		曇 ▲18.52